

# 礼文の森から

宗谷森林管理署  
礼文森林事務所

## 森林事務所の仕事紹介！-地況・林況調査-

暖かい日が多くなり、雪解けも少しずつ進んで、だんだんと春の気配が感じられるようになってきていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今回は、冬期における礼文森林事務所の仕事を紹介します。笹が雪で隠れる時期に行う森林事務所の仕事に、「地況・林況調査」というものがあります。

簡単に言うと、森林の状況を調べる調査です。具体的には、樹種・胸高直径（木の太さ）・樹高・1ha当たりの本数と材積（木の体積）・野生動物の生息状況等を調査します。

目的地までは、スノーモービルやソノメルスキー、スノーシューなどを使い向かいます。ソノメルスキーは、スキー板の裏側にアザラシの毛皮が貼り付いてあり、斜面を登りやすくなっています。



↑ 林内での調査の様子。ノギスを大きくしたような【輪尺（りんじゃく）】という道具を使い、木の太さを測ります。



↑ 地況・林況調査スタイル。今年は例年よりも雪の量が少ない影響で笹が隠れきっていないところが多く見られました。そのため、現地まではスキーを使用し、林内ではスノーシューを使用して調査を行いました。（写真左：スキー裏側のアザラシの毛皮）



↑ 地況林況調査箇所の林内の様子。

## 治山工事について

前号で大まかな工事箇所だけお知らせしていましたが「桃岩地区」「桃岩トンネル地区」「元地浜中」「津軽地区」の各地区における治山工事の具体的な内容等につきましては、次号以降で改めてお知らせしていく予定です。

不明点等ありましたら、礼文森林事務所までご連絡ください。

（写真は桃岩トンネル地区）

